

<b>特別展</b> <b>カレンダー</b> 2018.4~2019.3							2018 4 SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30							5 SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31							6 SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31							7 SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31							8 SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31							9 SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30							10 SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31							11 SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 30 31							12 SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31							2019 1 SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31							2 SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28							3 SUN MON TUE WED THU FRI SAT 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31						
---------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	--	--	--	--

※は休館日です。

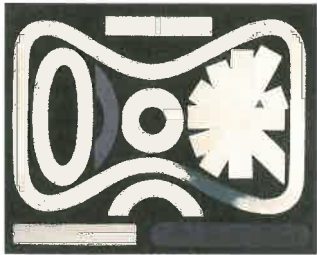
※年末年始休館(12/31,1/1)

※メンテナンス休館(1/2~1/10)

**「小磯良平と吉原治良」展**  
 Koiso Ryohei and Yoshihara Jiro  
 Dividing Ridge of the Hanshinkan Modernism

3月24日(土)~5月27日(日)

日本における具象絵画の巨匠小磯良平(1903-1988)と、日本の抽象絵画のパイオニア吉原治良(1905-1972)は、ともに戦前から戦後にわたって神戸・阪神間を中心に活動してきました。本展では、画風やキャリアは対照的な彼らの代表作を中心に約160点の作品と資料を展示し、その画業の対照性や類似性、同時代性、さらには地域性にも迫ります。



吉原治良《作品3》1934年 芦屋市立美術館蔵



小磯良平《雨りの前》1934年 京都市美術館蔵

**日本スペイン外交関係樹立150周年記念 兵庫県政150周年記念事業**  
**プラド美術館展 ベラスケスと絵画の栄光**  
 Velázquez and the Celebration of Painting: The Golden Age in the Museo del Prado

6月13日(水)~10月14日(日)

歴代スペイン国王の収集品を核として1819年に開設されたプラド美術館。本展は同館が誇る巨匠ディエゴ・ベラスケスの本邦初公開の作品を含む7点を軸とし、ティツィアーノやルーベンスなど王室コレクションの数々の傑作で構成します。絵画の黄金時代といわれる17世紀を中心とするヨーロッパ絵画の粋をご覧いただく貴重な機会となります。



ディエゴ・ベラスケス《王太子レタサル・カルロス騎馬像》1635年頃 マドリード、プラド美術館蔵 © Museo Nacional del Prado

**サヴィニャック パリにかけたポスターの魔法**  
 SAVIGNAC l'enchanteur

10月27日(土)~12月24日(月・振替休日)



20世紀フランスを代表するポスター作家レイモン・サヴィニャック(1907-2002)。鮮やかな色使いと大胆な造形、そしてユーモアとエスプリに満ちたその表現は「ビジュアル・スキャンダル」と呼ばれ、それまでのポスターの様式を一新しました。本展では、ポスター約90点とともに写真や原画、関連書籍などもあわせて展示することでサヴィニャックの仕事を紹介いたします。

レイモン・サヴィニャック《牛乳石鹸モンサヴォン》1948/1950年 パリ市フォルネー図書館所蔵 © Annie Charpentier 2017

**現代美術にみるヒーロー&ひとびと(仮題)**  
 Heroes and People in the Japanese Contemporary Art

2019年1月12日(土)~3月17日(日)

20世紀のはじめから現代へといたる日本の芸術表現について、「ヒーロー」という特別な存在と、そうではないふたつの「ひとびと」という対照的な人間のありかたに注目しながら、紙芝居、漫画やアニメ、特撮などの大衆的表現とともに紹介します。



安井仲治《旗》1931/2010年



会田誠《一人デモマシン(サラリーマン反対)》2005年 Courtesy: Mizuma Art Gallery

**共催展**  
**ジブリの大博覧会~ナウシカからマーンイーまで~**  
 4月7日(土)~7月1日(日)  
 会場:ギャラリー棟3階

ジブリ作品がどのように生み出され、世に出て行ったのか...  
 ポスター・広告・グッズ等の宣伝物を中心に、企画書など未公開のものを含む多数の資料を展示、スタジオジブリの30年間の歩みが体感できます。

©1984 Studio Ghibli・H



**共催展**  
**絵本原画展 いもとようこの世界**  
 7月14日(土)~9月2日(日)  
 会場:ギャラリー棟3階

絵を見た瞬間、何ともいえないあたたかい気持ちに包まれる、いもとようこの絵本。ぎざぎざした独特のタッチは、和紙をちぎって貼りその上に水彩絵の具やパステルで着彩して、繊細な陰影や表情が作られています。繊細な手仕事でつくられた絵から、言葉にならない気持ちや心象風景が伝わってくるような貴重な原画約300点を紹介します。

《ねこの絵本》(講談社) ©いもとようこ



**2018県展**  
 7月28日(土)~8月18日(土)  
 会場:原田の森ギャラリー  
 本館2階大展示室

兵庫県内で美術制作にはげむ方々の発表の場として続いてきた公募展です。出品規定は4月中に県内各所で配布予定です。たくさんのご応募とご来場をお待ちしています。

**注目作家紹介プログラム**  
 —チャンネル9— 和田淳展「私の沼」(仮題)  
 11月3日(土・祝)~12月2日(日)  
 会場:アトリエ1

現在活躍中の作家を紹介するシリーズの第9回として、和田淳(1980-)の個展を開催します。アニメーション作家として国内外で注目を集める和田氏の独創的な映像世界をご紹介します。 和田淳《私の沼》2017年より©Atsushi Wada

**共催展**  
**Su Xiaobai展(仮題)**  
 10~11月予定  
 会場:ギャラリー棟3階

※展覧会の内容、名称、会期は都合により変更することがあります。

**Back to 1918:10年ひとむかしと人は言う**  
 Back to 1918: Time Travel with the Museum Collection

3月17日(土)~6月24日(日)

「10年ひとむかし」といわれるように、10年という時間の幅はひとつのまとまりとして自然に意識されるものでもあります。そこで今回の県美術館では2008年、1998年と10年ごとに時間をさかのぼり、その年に生まれた作品やその年の出来事に関連のある作品をご紹介します。当館のコレクションとともに10年ごとの時間旅行をお楽しみください。

渡辺一郎《架線》1958年



**美術の中のかたち 一手で見る造形**  
**中ハシクシグ展(仮題)**  
 Form in Art -- Perceiving with the Hand Nakahashi Katsushige

7月7日(土)~11月4日(日)

見える人も、見えない人も、見えにくい人も、作品に触れるという方法で鑑賞していただける。当館恒例のシリーズ展。29回目となる今年には、近年、粘土による「塑造」制作に力を注ぐ美術家の中ハシクシグ(1955-)氏が、誰もが身近に触れあう機会の多い動物である犬を題材に、「触りがいのある彫刻」の制作に挑みます。

【参考図版】  
 中ハシクシグ《101》1995年



**県政150周年記念 ひょうご近代150年(仮題)**  
 The 150th Anniversary of Hyogo Prefecture  
 Hyogo and Modern Art 1868-2018

県政150周年を記念し、兵庫の風土・人々・生活、そして明治以後から今日までの兵庫の歩みを収蔵品で振り返ります。もちろん兵庫ならではの美術の動きも紹介。昨年度新しく収蔵した作品もお披露目します。

福田翠久《鶴(カフソツル)》1940年 ※前期(7/7~9/2)のみの展示



**小止言**  
**M氏コレクションによるJ・J・グランヴィル(仮題)**  
 J.J. Grandville from M-collection

11月17日(土)~2019年3月3日(日)

J・J・グランヴィル(1803-1847)は、19世紀フランスを代表する挿絵画家のひとり。本展は、国内有数のコレクターM氏の協力を得て、「ラ・カリカチュール」、「ル・シャリヴアリ」といった紙誌に掲載の諷刺画や、「もうひとつの世界」、「生きている花々」などの挿絵本を一室に展示、シュルレアリスムを先駆する特異なイマジネーションを紹介いたします。

《第一の夢：罪と贖罪》  
 (「ル・マガザン・ビトレスク」1847年刊掲載)



**類は友を呼ぶ**  
 Like Attracts Like

コレクションの紹介には様々な枠組みが設けられます。一般的なものではなく、ジャンルや、時代、地域でまとめる場合があります。本展では、作品の外の基準によるのではなく、たとえは、描線の特徴であるとか、二つの世界を対比する仕方であるとか、作品内の要素や構成の原理に着目します。共通項の中では個々の独自性も浮かび上がるでしょう。

元永定正《黄色の中で》1977年



## 館内施設のご紹介

- 美術情報センター** 全国の展覧会案内や、美術関係の図書、映像ソフトなどを無料でご利用いただけます。
- レストラン** 80席あるゆとりの空間で、各特別展をイメージした料理をお楽しみください。
- カフェ** オープンテラスもあり、お飲み物のほかサンドイッチなどの軽食やケーキもご用意しています。
- ミュージアムショップ** ミュージアムグッズやポストカード、美術図書などを販売しています。

## 各種催しのご紹介

美術館をさらに楽しく利用していただくために、当館では展覧会以外にも以下のような各種催しを行っています。

- 講演会** 美術鑑賞をさらに深めていただくために、展覧会関連の講演会を開催しています。また、年2回のKEN-Vi文化セミナーでは、著名な文化人をお招きした講演会を開催しています。
- ガイドツアー** 金・土・日曜日の午後1時から、ミュージアム・ボランティアによる県美プレミアムのガイドツアーを行っています(県美プレミアム開催期間中・無料/内容により要チケット)。
- 解説会** 日曜日の午前11時から、ミュージアム・ボランティアによる特別展の解説会を行っています(特別展開催期間中・無料)。
- 美術講座** 自分でも作品づくりをしてみたい方のための実技講座を実施しています。
- こどものためのプログラム** 展覧会鑑賞と制作を組み合わせ「こどものイベント」やアーティストによるワークショップなどを、1ヶ月に1~2回行っています。
- 映画会** ミュージアムホールで、1ヶ月に1回程度劇場映画上映会を行っています。
- コンサート** 館内の様々なスペースを利用した多彩なコンサートを週末に(年間約50回)開催しています。

※くわしい内容やスケジュールについては、当館の情報誌「HART」やホームページ、催しごとのご案内をご覧ください。

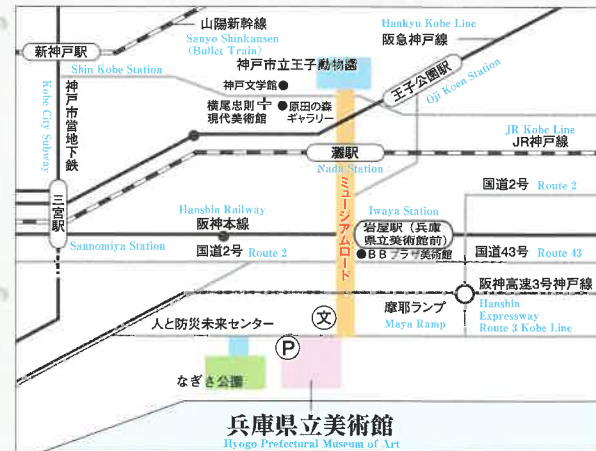
### 表紙 東山魁夷《夏日》1930年

東京美術学校在学中に描かれ、第11回帝展に入選した東山魁夷(1908-1999)の初期の秀作。若き日の東山魁夷が魅了された上高地周辺の風景と民家を俯瞰した視点から描いている。人々の日常が細やかに描き出され、鮮やかな色彩とともに表現されている。

(武陽会からの平成29年度寄贈作品)

## 美術館ご利用案内

- 開館時間**  
午前10時~午後6時(入場は午後5時30分まで)  
夜間開館 特別展開催中の金・土曜日  
午前10時~午後8時(入場は午後7時30分まで)  
※ただし、美術情報センターの利用時間は午前10時~午後6時
- 休館日**  
月曜日(祝休日の場合は翌日)  
年末年始(12月31日、1月1日)  
メンテナンス休館(1月2日~1月10日)
- 観覧料金**  
●特別展 展覧会によって異なります。  
●県美プレミアム(コレクション展)  
一般/500(400)<300>円  
大学生/400(300)<200>円  
( )は20名以上の団体、< >は特別展セット割引料金です。  
※高校生以下無料、70歳以上の方は一般料金の半額。  
※障がいのある方(70歳以上を除く)は各観覧料金の半額、その介護者(1名)は無料。  
※県美プレミアム無料観覧日について  
毎月第2日曜日(ただし11月・3月は除く)  
(公益財団法人伊藤文化財団のご協力による無料観覧)  
・7月12日~16日  
(県政150周年事業 美術館・博物館無料開放事業)



- 交通アクセス**
- 電車**  
○阪神岩屋駅(兵庫県立美術館前)から南へ徒歩約8分  
○JR神戸線灘駅南口から南へ徒歩約10分  
○阪急神戸線王子公園駅西口から南西へ徒歩約20分
- バス**  
○JR三ノ宮駅から、阪神バス「HAT神戸行き」、神戸市バス「101系統」「29系統」にて約15分、「県立美術館前」下車すぐ
- 車**  
○阪神高速3号神戸線「摩耶ランプ」から「摩耶ランプ南」交差点を西へ「摩耶ランプ」から約5分  
○国道2号線から「岩屋中町4」交差点を南へ  
○地下有料駐車場 乗用車80台  
○団体バス待機所 要事前予約

### 兵庫県立美術館-「芸術の館」-

〒651-0073 神戸市中央区臨浜海岸通1-1-1 [HAT神戸内]  
TEL 078-262-0901 FAX 078-262-0903  
https://www.artm.pref.hyogo.jp/



## 〈平成30年度〉 展覧会のご案内

2018.4 ▶ 2019.3



東山魁夷《夏日》1930年

## Exhibition Guide

## 県美プレミアム(コレクション展)

当館では、前身である県立近代美術館時代から国内外の彫刻、版画のほか兵庫ゆかりの作家を中心に、日本の近現代美術を収集してきました。この展示では、1年を3期に分けて、収蔵品によるテーマ展・館外作品も含む小企画を開催します。(詳細は裏面)

### 小企画

常設展示室の一角を使った企画展。所蔵作品に外部からの借用作品を加えることで、テーマ性を持った展示を行います。

### 特選

特定のテーマにしたがって所蔵作品を展示し、美術鑑賞に新しい視点を打ち出します。  
※3期を通じて以下の展示も行います。

### 小磯良平記念室・金山平三記念室(常設展示室2階)

神戸に生まれた近代日本洋画を代表する小磯良平、金山平三の2人の画家の記念室を展示棟2階に設けています。年間を通じてそれぞれ代表作を中心に20数点を展示しています。



小磯良平記念室



小磯良平《斉唱》1941年



金山平三《大石田の最上川》1948年頃



金山平三記念室

### 近現代の彫刻(常設展示室1階)

当館コレクションの柱のひとつである近現代の彫刻より、10点前後の作品を展示しています。  
(県美プレミアム1の期間は閉室します)



彫刻作品展示室

※掲載されている作品が展示されていないこともありますので、ご了承ください。